弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	海上交通法 1 (航海)			
科目基礎情報								
科目番号	3A32		科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	商船学科		対象学年	3				
開設期	後期		週時間数	2				
教科書/教材	基本 航海法規: 福井淡・浅木健司 (海文堂)							
担当教員	釜井 由景							
到達目標								
船舶の運航に必要な海上交通ルールの中で特に海上衝突予防法の目的・適用海域・航法等について理解する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
海上衝突予防法の目的や基本用語の理解	海上衝突予防法の目的や基本用語を理解・習得できる。		海上衝突予防法の目的や基本用語を理解できる。		海上衝突予防法の目的や基本用語を理解できない。			
海上衝突予防法の航法の理解	海上衝突予防法の航法を理解・習得できる。		海上衝突予防法の航法を理解できる。		海上衝突予防法の航法を理解できない。			
海上衝突予防法の灯火・信号等の理解	海上衝突予防法の灯火・信号等を理解・習得できる		海上衝突予防法の灯火・信号等を理解できる。		海上衝突予防法の灯火・信号等を理解できない。			
学科の到達目標項目との関係								
教養 C3 専門 E1								
教育方法等								
概要	海上衝突予防法の目的・適用海域・航法を中心に講義を行う。							
授業の進め方・方法	講義形式により行う。							
注意点	養成施設引当て科目 (単位) : 航海コース [衝突予防法(1.0)]							
実務経験のある教員による授業科目								
授業計画								
		週	授業内容			週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス			勉強や評価の方法等の理解ができる		
		2週	海上交通法の概説			海上交通三法の構成が理解できる		
		3週	海上衝突予防法と海上交通安全法・港則法の関係			海上交通三法相互関係が理解できる		
		4週	海上衝突予防法の目的および適用船舶			基本法である衝突予防法の目的、適用		
		5週	海上衝突予防法の用語と定義			海域、用語、定義等が理解できる		
		6週	あらゆる視界の状態における船舶の航法			規定される基本航法が理解できる		
		7週	互いに他の船舶の視野の内にある船舶の航法			規定される基本航法が理解できる		
		8週	中間試験					
	4thQ	9週	互いに他の船舶の視野の内にある船舶の航法			規定される基本航法が理解できる		
		10週	視界制限状態における船舶の航法			規定される基本航法が理解できる		
		11週	灯火通則・灯火および形象物の定義			規定される灯火、形象物が理解できる		
		12週	灯火および形象物の定め			規定される灯火、形象物が理解できる		
		13週	音響信号および発光信号			規定される各信号が理解できる		
		14週	補足・まとめ			準用規定・特例等が理解できる		
		15週	海上衝突予防法演習			演習問題等が理解できる		
		16週	期末試験					
評価割合								
	定期試験	小テスト	レポート	口答発表	成果物, 実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	10	20	100
知識の基本的な理解	70	0	0	0	0	0	0	70
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0	0
主体性・継続的な学習意欲	0	0	0	0	0	10	0	10
態度・志向性 (人間力)	0	0	0	0	0	0	20	20
プレゼンテーション力	0	0	0	0	0	0	0	0